

7/3(水)の発表

その先の、道へ。北海道
Hokkaido. Expanding Horizons.

報道発表資料の配付日時

7/3(水) 15時00分

発表項目 (行事名)	(速報) 感染性胃腸炎患者の発生について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施場所) 月 日 () 時 分～	発表者	
		発表場所	
概要	<p>○詳細については別紙のとおり</p> <p>◆速報 (感染性胃腸炎 (5類感染症) の集団発生について速報するもの)</p> <p>帯広保健所 保育所 18名 ノロ ……別紙1</p> <p>釧路保健所 小学校 38名 ノロ、アデノ ……別紙2</p>		
参考			

報道(取材) に当たっての お願い	<p>本公表は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第16条の規定に基づき、個人情報の保護に留意の上、感染症の発生状況等に関して必要な情報を公表するものです。</p> <p>つきましては、報道に当たって、個人のプライバシー等の保護のため特段のご配慮をお願いします。</p>		
他のクラブ との関係	同時配布	(場所)	
	同時レク	帯広、釧路保健所	

担当 (連絡先)	保健福祉部健康安全局地域保健課感染症・特定疾患グループ (担当:角)		
	電話	(代表) 011-231-4111 (内線25-506)	
		(ダイヤルイン) 011-204-5253	

感染性胃腸炎患者等の発生について

令和元年（2019）年7月3日（水）15：00

北海道保健福祉部健康安全局地域保健課

TEL：011-231-4111（内線：25-506）

FAX：011-232-2013

令和元年（2019年）7月2日（火）、帯広保健所管内の保育所において、感染性胃腸炎患者及びその疑いのある者の発生を確認しました。

記

- 1 発生の探知**
令和元年（2019年）7月1日（月）に、帯広保健所管内の保育所から、複数の園児及び職員がおう吐、下痢、発熱、腹痛等の症状を呈している旨、同保健所に通報があった。
- 2 発生の概要**
帯広保健所管内の保育所の園児16名及び職員2名の計18名が、6月27日（木）から7月2日（火）にかけて、おう吐、下痢、発熱、腹痛等の症状を呈し、うち3名が医療機関を受診し、治療を受けた。（入院した者はいない。）
- 3 現在の状況**
7月3日（水）現在、症状は回復もしくは快方に向かっている。
- 4 経過**
6月27日（木）～7月2日（火） おう吐、下痢、発熱、腹痛等の有症者発生
7月1日（月） 保育所から保健所に通報
6月29日（土）～7月2日（火） 医療機関及び保健所において、有症者4名の便を検査し結果、2名からノロウイルス、1名からアデノウイルスを確認
- 5 感染経路**
現在調査中
- 6 対応**
帯広保健所では、当該保育所に対し、園児及び職員の健康状況の把握、手洗いの励行及び施設内の消毒、清潔保持等、感染防止対策について指導を行った。
- 7 その他**
この件については、本日15時00分、帯広保健所においても資料配付を行っています。報道に当たっては、個人のプライバシー等の保護のため特段の御配慮をお願いします。

ノロウイルスとは

ノロウイルスとは、世界中に広く分布し、急性胃腸炎の原因の一つとなるウイルスである。ノロウイルスの人への感染は、ウイルスに汚染された飲食物を口にする事や、感染者との接触等による二次感染によって起こり、主に11月から3月に集中しているが、一年を通して発生がみられる。

主症状：吐き気、おう吐、腹痛、下痢、発熱（軽度）

潜伏期間：24～48時間

経過・予後：通常3日以内で回復、予後は良好

【ノロウイルスによる道内の集団感染性胃腸炎の発生状況 7月3日（水）現在】

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
件数（件）	206	201	138	150	179	182	137	104
有症者数（人）	4,987	4,878	3,004	3,638	4,465	4,341	2,849	2,189

*政令市（札幌市を除く）保健所分を含む。

*定点医療機関からの感染性胃腸炎患者報告数については、北海道立衛生研究所北海道感染症情報センターホームページにて公開しています。（<http://www.iph.pref.hokkaido.jp/kansen/index.html>）

アデノウイルスとは

アデノウイルスは、咽頭炎や肺炎などの呼吸器疾患、咽頭結膜熱（プール熱）や流行性角結膜炎などの眼疾患等の原因となるほか、胃腸炎を引き起こすことが知られており、主として乳幼児に見られる。アデノウイルスによる胃腸炎はノロウイルスやロタウイルスに比べ低頻度だが、一年を通して発生がみられる。

主症状：吐き気、おう吐、腹痛、下痢、発熱（軽度）

潜伏期間：3～10日

経過・予後：1週間程度で回復

感染性胃腸炎患者等の発生について

令和元年(2019年)7月3日(水) 15:00
 北海道保健福祉部健康安全局地域保健課
 TEL: 011-231-4111 (内線: 25-506)
 FAX: 011-232-2013

令和元年(2019年)7月2日(火)、釧路保健所管内の小学校において、感染性胃腸炎患者及びその疑いのある者の発生を確認しました。

記

- 1 探知
 令和元年(2019年)6月28日(金)に、医療機関から、釧路保健所管内の小学校で複数の児童がおう吐、腹痛、下痢などの症状を呈している旨、保健所に通報があった。
- 2 発生の概要
 釧路保健所管内の小学校の児童38名が、6月26日(水)から7月2日(火)にかけて、おう吐、腹痛、下痢などの症状を呈し、15名が医療機関を受診し、治療を受けた。(入院した者はいない。)
- 3 現在の症状
 7月3日(水)現在、症状は回復もしくは快方に向かっている。
- 4 経過
 6月26日(水)～7月2日(火) おう吐、腹痛、下痢などの有症者発生
 6月28日(金) 医療機関から保健所に通報
 7月2日(火) 保健所において、有症者のうち5名の便を検査した結果、2名からノロウイルスを確認
- 5 感染経路
 現在調査中
- 6 対応
 釧路保健所では、当該小学校に対し、児童及び職員の健康状況の把握、手洗いの励行及び施設内の消毒、清潔保持等、感染防止対策について指導を行った。
- 7 その他
 この件については、本日15時00分、釧路保健所においても、資料配付を行っています。報道に当たっては、個人のプライバシー等の保護のため特段の御配慮をお願いします。

ノロウイルスとは

ノロウイルスとは、世界中に広く分布し、急性胃腸炎の原因の一つとなるウイルスである。ノロウイルスの人への感染は、ウイルスに汚染された飲食物を口にする事や、感染者との接触等による二次感染によって起こり、主に11月から3月に集中しているが、一年を通して発生がみられる。

主 症 状：吐き気、おう吐、腹痛、下痢、発熱（軽度）
 潜 伏 期 間：24～48時間
 経過・予後：通常3日以内で回復、予後は良好

【道内の集団感染性胃腸炎の発生状況（ロタウイルス除く） 7月3日(水)現在】

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
件数(件)	206	210	138	150	179	182	137	104
有症者数(人)	4,987	4,878	3,004	3,638	4,465	4,341	2,849	2,189

*政令市(札幌市を除く)保健所分を含む。

*定点医療機関からの感染性胃腸炎患者報告数については、北海道立衛生研究所北海道感染症情報センターホームページにて公開しています。(http://www.iph.pref.hokkaido.jp/kansen/index.html)